



募集するのは、9学科14コース16クラスで、週に1回90分程度の授業が、1年間に34回から40回あります。授業の前後にホームルームもあり、授業回数の中にはSSCC全体の行事も含まれています。

対象...市内在住・在勤のおおむね55歳以上で通学が可能な方

申込み方法など...社会教育課・公民館・図書館で配布している「募集案内」を入手し、往復はがきに募集案内に掲載の必要事項を記入し、2月22日 必着で、社会教育課内SSCC運営委員会まで郵送
応募前に、必ず平成24年度募集案内(社会教育課・公民館・図書館に用意)で詳細を確認してください

●パソコン学科(各全40回)

内容 電源の入れ方、文書作成、インターネットと電子メールの基本など 文書作成、インターネットと電子メールの操作など Word、Excelの応用など 地域サークルなどでの資料作成・発信の実用的手法

クラス	開催日	定員	費用	場所
入門	木曜日	20名	3万円	日本情報システム(株) (注1)
初級A	月曜日			
初級B	木曜日			
中級A	月曜日			
中級B	木曜日			
実用	木曜日			

●ハングル入門学科

内容ハングル文字の習得や韓国文化に触れながらの簡単な会話

開催日	火曜日
授業回数	40回
定員	20名
費用	2万5千円
場所	ユースプラザ (注2)

●中国語入門学科

内容中国語の発音、簡単なあいさつや短い会話文の習得

開催日	水曜日
授業回数	40回
定員	20名
費用	2万5千円
場所	サピオ稲荷山 (注2)

●英会話学科(各全34回)

内容 日常の基本的な会話の習得 熟語や慣用句の習得と場面に応じた表現など 授業は英語で実施

コース	開催日	定員	費用	場所
初級	土曜日	20名	2万5千円	西武文理大学
中級				

●狭山の歴史学科

内容 市内の原始・古代から近・現代までの歴史の学習や散策など 市内の文化財や石仏などの調査研究 普通コース修了者対象。石仏研究と文化財散策研究の双方の修了者は除く)

コース	開催日	定員	授業回数	費用	場所
普通	木曜日	30名	38回	2万円	博物館 (注2)
研究		20名	34回		

●ジャーナル学科

内容取材に出かけて新聞や冊子を発行。情報発信に必要な知識と技術を学ぶ

開催日	月曜日
授業回数	40回
定員	24名
費用	2万5千円
場所	ユースプラザ (注2)

●いきがい学科

内容いきがいとは何かを自分で発見するための学習

開催日	土曜日
授業回数	34回
定員	30名
費用	2万5千円
場所	早稲田大学所沢キャンパス

●楽農学科

内容野菜の栽培に関する実習を中心に学習

開催日	水曜日
授業回数	40回
定員	30名
費用	3万円
場所	農村環境改善センター

●トレッキング学科

内容トレッキングの基礎知識や企画運営に必要なことなどを学ぶ

開催日	火曜日
授業回数	39回
定員	30名
費用	2万円
場所	サピオ稲荷山 (注2)

(注1) 9月から、旧狭山台北小学校跡利用施設に変更予定 (注2) 6月から、旧狭山台北小学校跡利用施設に変更予定
問合せ社会教育課内SSCC運営委員会へ内線5673

市長随想 堤



狭山市長 仲川幸成
似顔絵・花倉正喜氏

食品安全の今昔

「河豚は食いたし命は惜しし」これは子どものころ遊んだ犬棒かるたの一札であると記憶しています。おいしい河豚は食べたいが、毒にあたって死ぬかもしれないと思うとなかなか手が出ないという例え話です。

食品の鮮度などが科学的データに基づいて示されるようになった今日、私たちが毎日、口にする食品の安全性は飛躍的に向上しましたが、一方で、生産者や製造者には厳しい責任が課せられています。

私がかつて子どものころは、冷蔵庫もなく保存も大変でした。野菜や保存食が主である農家生活の中にあって、「ちそう」と言われた魚や肉などの購買品もたまかに食しましたが、においや色具合など五感を研ぎ澄ませ、見極めてから食べたものでした。もちろん、食品の賞味期限などありませんでした。

昔は、食べても安全かどうか自らの責任で判断できる知恵や



地域の仲間と出会い、共に学び

地域でいきがいをもって暮らすきっかけづくりの場

狭山シニア・コミュニティ・カレッジ

狭山シニア・コミュニティ・カレッジ(SSCC)は、平成12年度の開講以来、約3千500名もの修了生を送り出してきました。SSCCには、過去に培った能力や技術のさらなる探求、新たな知識の習得、地域での新たな仲間との出合いの機会があります。出会った仲間とともに、学びで得た知識や積み重ねた経験を活かし、地域で活躍するたくさんの修了生がいます。SSCCは、高齢者自身が高齢社会の重要な担い手として、地域社会の中で人生を謳歌し活躍していくための学習と出会いの場です。

今月は、SSCCの魅力と、24年度の受講生募集についてお知らせします。



SSCCの1年間

春



4月4日 に

入学式を行います。学長から式辞をいただき、各学科の講師を紹介します。カレッジ生活スタート。授業は順次始まります。

冬



11月下旬には市民会館で文化祭を開催。学習内容の展示のほか、語学関連学科による合唱や楽農学科、パソコン学科の受講生によるミニ講義、実演などの発表が行われ、日ごろの学習成果を披露します。また、文化祭のPRは、受講生が作成するポスターを使用します。

1月にはカレッジニュースの2回目の発行。カレッジ生活を振り返りましょう。

夏



年2回発行するカレッジニュースの1回目の発行は7月。各クラスから編集委員

員が選出され、受講生の原稿を取りまとめ、写真やイラストを添えた読み応えのあるものを作ります。

秋



10月に市民総合体育館で体育祭を開催。クラス対抗競



技、応援合戦と、白熱した戦いが展開されます。クラスの団結力がグッと上がります。

そして、春

1年間の学生生活の締めくくりは修了式です。学んだ知識や仲間たちとの絆をその後の活動に活かします。

— 活動紹介展と個別相談 —

2月22日 まで、市役所1階エントランスホールで行っています。詳しくは、募集案内でご確認ください。

市民の手で企画・運営

SSCCは、市が「NPO法人狭山市の高齢社会を考える会」へ委託しています。総体的な企画から学科運営まで、ボランティアスタッフに支えられ、カレッジライフは受講生の主体的活動によって成り立っています。まさに、「市民と行政の協働によるまちづくり」につながる生涯学習事業の一つです。

受講生は、授業や行事に自ら積極的に参画することで、カレッジライフを満喫しています。

市長の主な動き

1/5...臨時庁議、白寿訪問 1/7...消防出初式
1/9...成人式 1/10...県と県市長会・県町村会との新年懇談会 1/12・26...定例庁議 1/16...さやま大茶会写真・俳句展入賞者表彰式 1/18...埼玉県都市競艇組合議会臨時会 1/21...中学生との対談 1/24...青少年問題協議会 1/26...救援対策本部会議 1/27...廃棄物減量等推進審議会 1/28...川越卸売市場株取締役会 1/29...「彩の国21世紀郷土かるた 狭山市大会



対処法を受け継ぎ、身につけておりました。どんなことでもまず自分自身で守る事の大切さを伝えていきたいものです。